

# 3 鎌倉南地域 地域別方針



目標における網掛け部分   と具体的な取り組みにおける太字部分は平成16年度に追加・修正した部分です。また★印は重点的に取り組む内容です。

## まちづくりの基本的考え方

- 市街地を囲む海と山の緑をまちづくりに活かす。
- 観光による住環境への影響をできるだけ低減し、静かな市街地をめざす。
- 古くからの良好な住宅地のイメージを継承する。

### 目標

**目標①**  
住環境の保全と市街地の整備

- ①若宮大路のまち並み景観を、歴史や文化を感じさせ、上品で落ちつきのあるものとする
- ②花、緑、水、光を大切にし、活用する
- ③古くからの保養地、別荘地の静かなたたずまいを保全する
- ★④商店街の個性を活かした整備をする

### 具体的な取り組み

- 若宮大路沿道のまち並み形成・緑の充実
- まち並み形成のルールづくり (景観法の活用など)
- 沿道の公的施設の整備・充実 (文化発信拠点の施設整備等)
- 沿道の商業施設の整備
- 古都保存法による緑の保全
- ★鎌倉海浜公園の整備 (スポーツ・レクリエーション施設としての活用等)
- 河川の自然回復と環境保全・親水化 (滑川、稲瀬川等)
- ★街区公園の整備
- 主要道路沿道の住宅地の環境形成
- 市街地の良好な低層を主体とした住宅地の環境保全
- 谷戸の低層住宅地の環境保全
- 寺社、史跡、洋風建築物を活用した景観整備
- 古都にふさわしい商店街の形成 (由比ガ浜等の商店街)
- 生活型商業地の形成 (材木座商店街)
- 住環境と調和した観光型商業地の形成 (長谷・坂ノ下商店街)

**目標②**  
海岸ゾーンの整備

- ①鎌倉らしい落ちついた海岸の景観づくりを進める
- ②きれいな砂浜と海水を取り戻す
- ③観光施設と住環境の調和を図る
- ④築港遺跡を保全する
- ⑤津波対策を検討する

- ★鎌倉海浜公園施設の整備・充実
- 建物デザインの方向づけ
- 道路や海辺の美観向上 (緑化、修景)
- 砂浜の浄化
- 河川・河口の整備・浄化
- 海沿いの住宅地と観光施設の調和
- マリトレジャーと周辺環境との調和
- ★和賀江嶋の修復・整備
- 河川の防潮堤の検討

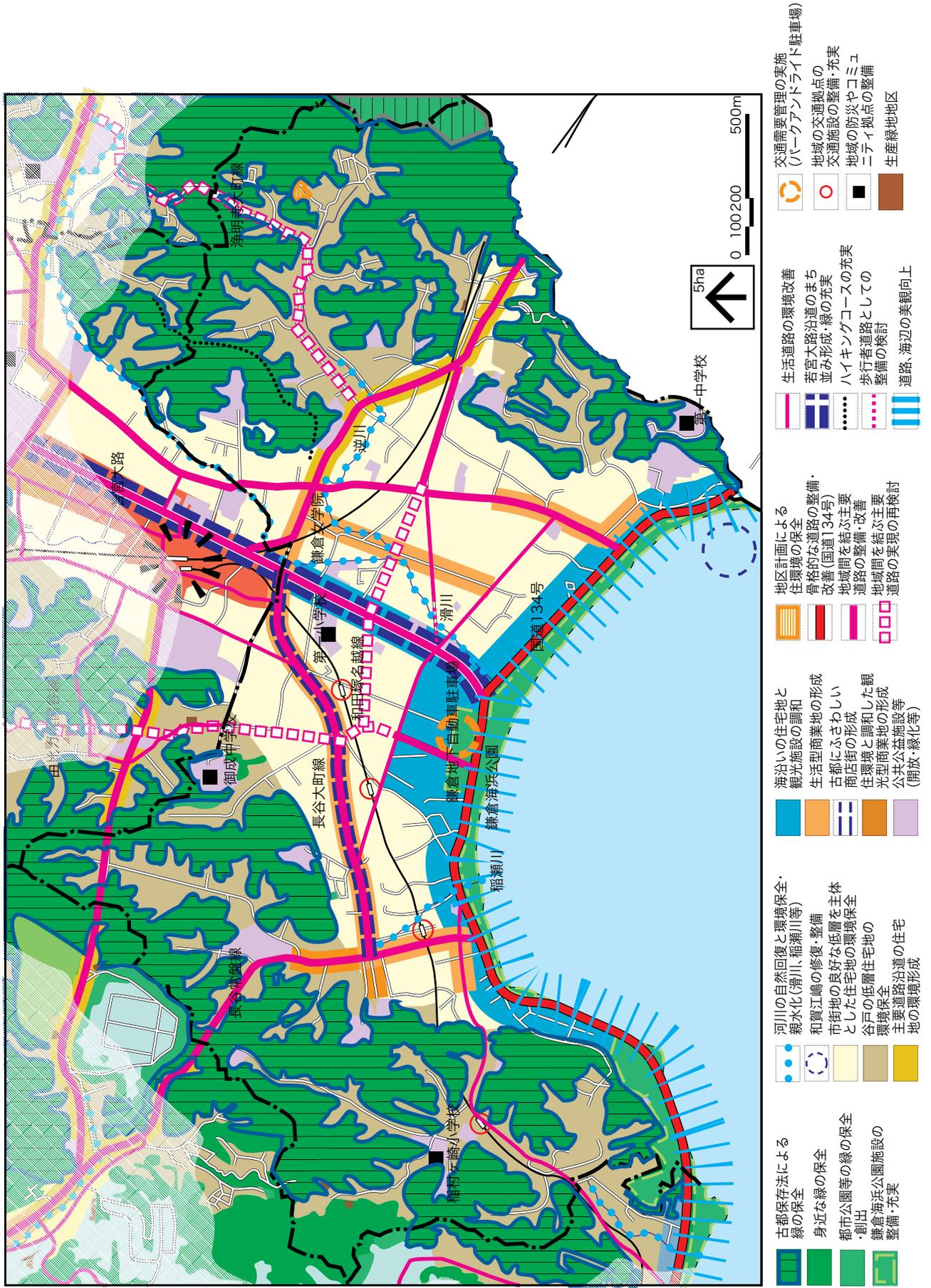
**目標③**  
海岸部の道路交通環境の改善

- ①交通渋滞の緩和を図る
- ②歩行者 (市民) や自転車の利用を考慮した道路整備を行う
- ③住宅地の交通環境を整備する
- ④バスや江ノ電の利便性向上を図る

- 交通需要管理の検討と実施 (パークアンドライドの充実)
- 骨格的な幹線道路の整備・改善 (国道134号)
- 地域間を結ぶ主要道路の整備・改善
- 地域間を結ぶ主要道路の再検討※ (由比ガ浜関谷線※・浄明寺大町線等)
- ★長谷常盤線と国道134号の交差点の整備
- 快適で楽しい歩行者空間の整備
- 由比ガ浜地下駐車場 (鎌倉地下自動車駐車場) から楽しんで歩けるコースの整備
- 由比ガ浜・長谷商店街の歩道拡幅や整備
- 自転車専用レーンの整備
- 谷戸の幅員の狭い道路整備のあり方の検討
- 地域の交通拠点の交通施設の整備・充実 (駐輪場等)
- バスの運行本数やバスルートの改善・整備

※由比ガ浜関谷線は交通体系整備の観点からは必要だと考えていますが、今後は市民意見や環境に配慮した整備手法などを考慮しながら再検討を行っていきます。

図 地域別方針……鎌倉南地域



## 1. 地域の特性

- 三方を丘陵に囲まれ、南側は相模湾に面した市街地は、古くからの保養地、別荘地としての佇まいを残しています。最近、海岸周辺ではマリッジを楽しむ人たちでにぎわいを見せています。
- また長谷界限では、高德院、長谷寺をはじめとする神社仏閣や、大正から昭和にかけて居住した鎌倉文士に関する資料を集めた鎌倉文学館や鎌倉文士にまつわる碑が点在しています。また、江ノ電長谷駅周辺には観光みやげ店、飲食店が集積し、由比ガ浜通りには昔ながらの商店と比較的新しい店舗が軒を連ねています。

## 2. 主な動向と取り組み

地域別の方針（本編 138 ページ）に掲げる 3 つの目標についての主な動向と取り組みは次のとおりです。

### 目標 ①

#### 住環境の保全と市街地の整備

- 由比ガ浜通り（下馬～六地藏、H13.8）及び由比ガ浜中央（H17.1）を景観形成地区に指定しました。
- 長谷二丁目街づくり協議会（2.7ha、H11.2）、大町 6・7 丁目自治会（42.2ha、H15.8）、笹目街づくり会（2.4ha、H16.3）から鎌倉市まちづくり条例に基づく自主まちづくり計画が提案されました。

### 目標 ②

#### 海岸ゾーンの整備

- 鎌倉海浜ベルト総合整備構想（H11.3）を策定しました。

### 目標 ③

#### 海岸部の道路交通環境の改善

- 平成 13 年に七里ガ浜パークアンドレールライド、由比ガ浜パークアンドライド、鎌倉フリー環境手形、由比ガ浜地下駐車場～鶴岡八幡宮シャトルバスの運行、鎌倉参道線でのバス優先レーンの設置等の交通需要管理施策が行われています。
- また、これらの経験の蓄積をもとに、鎌倉地域交通計画研究会から鎌倉地域の地区交通に関する提言（その 2）が出されました（H13.9）。
- その後、研究会の提言を引き継いだ鎌倉市交通政策研究会が鎌倉地域情報提供調査（社会実験）を実施しました（H15.11）。

### 3. 重点的に取り組む内容

海に近く、観光みやげ店、飲食店が集積する地域の特性を活かすための商店街の整備・活性化や海岸ゾーンの整備が重要です。

重点

#### 1) 街区公園の整備

- 街区公園の整備について、子育ての場や防災上の観点も踏まえ検討します。またその計画段階や維持管理への市民参画についてもあわせて検討します。

重点

#### 2) 商店街の整備・活性化

- 由比ガ浜通りの商店街については、ハード(歩道拡幅等)とソフト(イベント開催支援、空き店舗サポート、由比ガ浜中央景観形成地区の景観に関するルール策定等)の両面からの取り組みにより、鎌倉にふさわしい個性を活かした魅力ある商店街の形成を目指します。
- 材木座周辺の商店街については、地域の生活密着型商店街としての魅力を向上させるため、道路の改良工事を行うとともに、ソフト面の支援を検討します。
- 長谷周辺の商店街については、市民や観光客が安心して歩けるよう、店舗前空地の確保や歩道の拡幅等の環境整備を検討します。

重点

#### 3) 海岸ゾーンの整備

- 鎌倉海浜公園坂ノ下地区の施設整備については、市民等の意見を反映した計画に基づき、良好な海浜の景観形成について検討を進めます。
- 和賀江嶋については、その歴史的価値を伝承するため、案内看板の設置などの整備を検討します。
- 長谷常盤線と国道134号の交差点部は、鎌倉地域の慢性的な交通渋滞の緩和を図るため、鎌倉地域への入り口として歩行者の安全及び周辺環境に配慮した道づくりを、引き続き行っていきます。

#### ソフト面の取り組み

- 市内の子供達が古都の良さと環境について、学び、ボランティア活動に参加する機会を設ける
- 小中学校でごみ拾い日を設ける
- 市街地を通過する車と観光用の車を制限する
- 歩きたくなるガイドMAPを作る
- 境内地の有効活用の方法の検討

#### 検討課題

- 国道134号の機能強化の具体的な方向
- (仮)鎌倉漁港建設の多角的な検討